



大判インクジェットプリンターの
基本仕様記載様式

Standard Form of Basic Specification for Large-format Inkjet Printers

JBMIA-TR-39:2024

令和6年12月制定

(December, 2024)

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会
Japan Business Machine and Information System Industries Association
大判インクジェットプリンター一部会
基本仕様記載項目標準化分科会

大判インクジェットプリンター一部会 基本仕様記載項目標準化分科会 委員構成表

(分科会長)	前川原 稔	コニカミノルタ株式会社
(副分科会長)	伊藤 徹郎	ブラザー工業株式会社
	吉田 信次	ブラザー工業株式会社
	竹腰 信彦	キヤノン株式会社
	細川 義之	キヤノン株式会社
	森 雅和	コニカミノルタ株式会社
	藤森 幸光	セイコーエプソン株式会社
	玉井 祥生	株式会社ミマキエンジニアリング
	國分 直	リコージャパン株式会社
	増田 智美	ローランド ディー. ジー. 株式会社
	伊藤 好二	ローランド ディー. ジー. 株式会社
(事務局)	坂本 敬康	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会
	冠野 博信	一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

規格番号：JBMIA-TR-39

制 定：令和6年12月23日

原案作成：大判インクジェットプリンター一部会 基本仕様記載項目標準化分科会

目次

	ページ
序文 (Introduction)	1
1 適用範囲 (Scope)	1
2 引用規格	2
3 記載ルール	2
4 基本仕様一覧書	4
解説	7

大判インクジェットプリンターの基本仕様記載様式

Standard Form of Basic Specification for Large-format Inkjet Printers

序文 (Introduction)

現在、各社の大判インクジェットプリンター製品において、カタログに記載されている内容、文言は、各社バラバラである。また、同じ文言で記載している項目においても、各社独自の基準によって条件が異なる内容にて記載されているため、単純比較が難しい。

この **TR** は、カタログに記載する基本仕様の項目、記載内容、順序等を標準化し、お客様がカタログにより各社製品の仕様を容易に横並べ、比較できる様にするものである。

Currently, the content and wording in each company's catalog of large-format inkjet printer products vary. In addition, even if the items are described in the same wording, it is difficult to make a simple comparison because they are described with different conditions depending on each company's own standards.

This technical report standardizes the items, contents and order of basic specifications to be listed in the catalog so that customers can easily compare specifications of each company's products in the catalog.

1 適用範囲 (Scope)

この **TR** は、大判インクジェットプリンターに関するカタログの記載事項及びカタログの記載事項記入要領について規定する。

Multifunction Printer (多機能プリンター) は、対象外とする。

また、この **TR** の対象とするカタログは、紙に印刷したものとする。ページ数が少なく、十分なスペースを確保できないものは、対象外とする。

なお、この **TR** を適用する大判インクジェットプリンターは、以下の項目で定義されるものとする。

- ・インクジェット方式
- ・分野

グラフィックス (プルーフ、フォトを含む)、CAD/GIS、テキスタイル、サイネージ

- ・対応用紙幅は、17 インチ (432mm, A2 ノビ) 以上

但し、テキスタイルに含まれるガーメントプリンターに関しては 17 インチ以下を含む

- ・シリアルヘッド方式、ラインヘッド方式

This technical report defines the items to be included in catalogs for large-format inkjet printers and the guideline for filling out catalog entries.

It does not apply to Multifunction Printer.

Catalogs covered by this technical report shall be printed on paper. Documents with a small number of pages and insufficient space are not covered by this technical report.

In this technical report, large-format inkjet printers are defined by the following items.

- Inkjet method
- Field
Graphics (including proofs and photos), CAD/GIS, textile, signage
- Supported paper width is 17 inches (432 mm, A2 plus) or more
However, for garment printers included in textiles, including 17 inches or less
- Serial head method, line head method

2 引用規格

この TR には、引用規格はない。

There are no normative references in this document.

3 記載ルール

a) 項目の記載方法について

各社カタログの基本仕様の必須項目として「分類」、「項目」のうち、黄色セルを順序通りに記載し、白セルは各社任意記載とする。

b) 項目の追加について

本一覧表の項目以外に記載が必要な項目は、追加を行っても良い。

「分類」：2 項目程度

「項目」：追加数の制限なし

ただし、既存の「項目」の順序の入れ替えは、不可。

c) 項目名について

「項目」欄の項目名に () が付いているものは、記載する内容を示しており、省略可能。

(例)

インク	(種類)	染料インク
	(容量)	500 ml
	(供給方式)	インクタンク方式

⇒

インク	染料インク
	各色500 ml
	インクタンク方式

d) 複数の名称のある分類について

「給紙方法/給材方法」、「対応用紙/対応メディア/対応布/対応プラテン」など、複数の名称が記載されている分類については、そのうちの不要な名称を削除して記載しても良い。

e) 任意記載について

各項目の任意記載項目は、1 つの欄にまとめて記載可。

(例)

電源	電圧：V	AC 200-240 V
	周波数：Hz	50/60 Hz
	単相・3相	単相

⇒

電源	AC 単相 200-240 V 50/60 Hz
----	--------------------------

f) 記載条件・記載例・補足について

記載条件：下線有り

記載例・補足：下線無し

g) 準拠文の記載について

以下の準拠文を、一覧表の下方、及び、欄外項目表の上方に記載する。

< 準拠文 >

※本カタログは、JBMIA-TR-39 に準拠しています

h) 注釈について

注釈は、準拠文の下方に記載しても良い。

i) 欄外項目表について

本一覧書以外の項目については、準拠文よりも下方に、欄外項目表として記載してもよい。欄外項目表について、表の有無、名称、項目名、項目数、記載内容、記載フォーマット等は、特に定めない。

j) 項目欄について

項目欄（分類、項目）は、右側にも記載しても良い。

k) 単位について

1) 「対応用紙/対応メディア/対応布/対応プラテン」のみ
mm のみでも, inch のみでも良い。併用も可能。

(例)

8 inch (203 mm)

10x12"

2) 「対応用紙/対応メディア/対応布/対応プラテン」以外

SI 単位（温度は、°C）を必須とし、先頭に記載。他の単位を併記しても良い。

(例)

100 kg (220 lbs)

l) 価格について

価格を記載する場合は、一覧表最上部、または、一覧表最下部に記載する。

4 基本仕様一覧書

基本仕様		項目	単位	記載条件・記載例・補足	
分類					
1	印刷方式		—	〇〇インクジェット方式（ピエゾインクジェット方式、サーマルインクジェット方式など）	
			—	スキャン型/シングルパス型など	
2	ヘッド	(ヘッド構成)	—	選択記載項目は、1行にまとめて記載可 ヘッド型式の記載も可	
		(ヘッド個数)	—		
		(ノズル数)	—		
		(Dropサイズ)	pl		
3	解像度	(最高解像度)	dpi	印刷物上での最高解像度とする	
		(各モードの解像度)	dpi	各モードの解像度	
4	インク	(種類)	—	種類（顔料、染料、エコソル、ソルベント、など）	
		色数（同時印刷）	色	一度の印字で画像を形成している最大色数 クリアインクは色数に含む プライマーインクのような下地は色数に含まない マットブラック、フォトブラックは、1色とカウントしても良い	
		(色数（セット可能な色数） （使用又は選択可能な色数）)	色	全色数とセット可能な色数、使用可能な色数が同じ場合は、「色数」のみを記載する インクセットの型式の記載も可	
		(容量)	ml/mL/l/L	任意に「色種類」（CMYK等）を追加するのは可供給形態の記載も可	
		(供給方式)		〇〇方式	
5	給紙方式 給材方式			ロール紙/カット紙/ASF/FB/プラテン送り方式/etc 項目名はプリンタにより選択可能とする	
6	対応用紙 対応メディア 対応布 対応プラテン	サイズ	最大幅/最大長	mm (インチ/inch)	項目名はプリンタにより選択可能とする W mm / W×D mm (インチ/inch)
			最小幅/最小長	mm (インチ/inch)	項目名はプリンタにより選択可能とする W mm / W×D mm (インチ/inch)
			(最小幅～最大幅) / (最小長～最大長)	mm～mm (インチ/inch)	〇〇 mm～〇〇 mm 項目名はプリンタにより選択可能とする
			ロール径	mm (インチ/inch)	項目名はプリンタにより選択可能とする 内径・外径分けて記載しても良い
			重量/質量	kg	項目名はプリンタにより選択可能とする
			プラテンサイズ	mm (インチ/inch)	項目名はプリンタにより選択可能とする Wmm / W×D mm (インチ/inch)
		厚さ	最大	mm (インチ/inch)	項目名はプリンタにより選択可能とする
			最小	mm (インチ/inch)	項目名はプリンタにより選択可能とする
			(最小幅～最大幅)	mm～mm (インチ/inch)	〇〇 mm～■■ mm 項目名はプリンタにより選択可能とする
			(ギャップ)	mm (インチ/inch)	対象物の上面～ノズル面まで 項目名はプリンタにより選択可能とする
			(プラテンギャップ)	mm (インチ/inch)	プラテン～B13:H29ノズル面まで 項目名はプリンタにより選択可能とする

基本仕様				単位	記載条件・記載例・補足	
分類	項目					
7	印刷領域	(印刷可能領域)	(最大幅/最大範囲)	mm (インチ/inch)	(最大印刷可能幅) W mm (最大印刷可能領域) W×D mm	
			(最小幅/最小範囲)	mm (インチ/inch)	W mm / W×D mm (インチ/inch)	
			(マージン・余白)	mm (インチ/inch)	右マージン: ○ mm 左マージン: ○ mm 上下左右: ○ mm 等 書ききれない場合には欄外適用とし、※などでその旨を示す	
8	インターフェイス			—	USB (2.0/3.0, コネクタタイプ等) LAN 通信速度 等	
9	外形寸法 (W×D×H)	(本体サイズ・寸法)		mm (インチ/inch)	○ mm×○ mm×○ mm ※数値の前に「約」の記載可	
		(梱包サイズ)		mm (インチ/inch)	○ mm×○ mm×○ mm ※数値の前に「約」の記載可	
		(オプション込みサイズ)		mm (インチ/inch)	○ mm×○ mm×○ mm ※数値の前に「約」の記載可	
10	重量 質量	本体 (インク, ○○は含まない)		kg	インク, メディア等は含まない重量を記載	
		オプション装着時		kg	インク, メディア等は含まない重量を記載	
11	設置条件・動作環境	電源	電圧	V	○○ V, AC ○○ V 範囲での記載も可 例: 100 V-200 V	選択記載項目は, 1行にまとめて記載可
			電流	A	○○ A	
			周波数	Hz	○○ Hz 範囲での記載も可 例: 50 Hz-60 Hz	
			単相・3相	相		
			電圧許容範囲 (公差)	%, V	○○ V ±○○ % ○○ V ±○○ V	
12		消費電力	最大	W	測定条件は, 記載不要 欄外への記載も可	
			動作時	W (以下)	測定条件は, 記載不要 欄外への記載も可 平均値/ピーク値のどちらでも良い	
			待機時	W (以下)	測定条件は, 記載不要 欄外への記載も可 平均値/ピーク値のどちらでも良い	
			スリープ時	W (以下)	測定条件は, 記載不要 欄外への記載も可 平均値/ピーク値のどちらでも良い	
			オフ時	W (以下)	測定条件は, 記載不要 欄外への記載も可 平均値/ピーク値のどちらでも良い	

基本仕様				単位	記載条件・記載例・補足
分類	項目				
13	温湿度環境	印刷推奨環境		℃, %RH	範囲での記載も可 例：20℃～25℃ 各社が推奨する環境条件を記載
		動作可能環境		℃, %RH	範囲での記載も可 例：20℃～25℃ 下記文言例でも可 ・印刷可能環境 ・印刷可能温度・湿度 動作が可能な(不具合を起こさない)環境条件を記載
		保管環境		℃, %RH	長期休みの場合の保管環境 倉庫等
14	設置面積 (W×D)			mm (ワチ/inch)	設置面積：○mm×○mm ※数値の前に「約」の記載可 ※図や絵などで表す場合には、「※」で欄外適用の旨を示す
15	高度			m	
16	稼働音	動作時		dB (A) (以下)	測定条件は、記載不要
		待機時		dB (A) (以下)	測定条件は、記載不要
17	圧縮空気	圧力		Pa (以上)	測定条件は、記載不要 実使用値を記載する
		量		L/h, L/min, m ³ /h, m ³ /min	測定条件は、記載不要 実使用値を記載する
18	水供給	圧力		Pa (以上)	測定条件は、記載不要 実使用値を記載する
		量		L/h, L/min	測定条件は、記載不要 実使用値を記載する

※本カタログは、JBMIA-TR-39に準拠しています

大判インクジェットプリンターの基本仕様記載様式

解説

この解説は、本体に記載した事柄を説明するもので、TRの一部ではない。

1 制定の趣旨及び経緯

基本仕様記載様式を検討することになった背景として、お客様が、大判インクジェットプリンターを選定する際、カタログなどに表記されている内容、測定方法が、メーカー毎に違っているために横並び検討ができず、選定に苦勞していたことがあげられる。そこで、大判インクジェットプリンターの参加委員にて、カタログなどの表記する項目、内容、測定方法に統一感を持たせることを検討することとなった。検討では、対象となるプリンターが、グラフィックス（プルーフ、フォトを含む）、CAD／GIS、テキスタイル、サイネージと用途が異なることから、記録する対象物（紙や布など）、搬送方式（シート搬送やロール搬送など）や前後処理（UV 定着や熱定着など）等、異なる項目が多かったため、標準化できる仕様を抽出することが困難だった。しかし、参加委員の前向きな検討、各社での調整、意見集約を行うことで、基本仕様一覧を JBMIA-TR として制定することができた。基本仕様一覧の作成に協力して頂いた委員の方々に感謝の意を表したい。

2 審議中に問題となった事項

仕様一覧を検討している中で、お客様に有用であるために一覧に盛り込みたい項目は多々あった。しかし、項目として盛り込むまでに、測定方法の標準化や社内での調整など、時間を要するものがあつた。そこで、時間を掛けて仕様一覧の項目を充実させるのではなく、できるだけ早く、仕様一覧を標準化し、各社のカタログの横並び検討できるようにすることに注力したため、仕様一覧としては、基本的な項目となった。今後、時間を要するかもしれないが、お客様に有用な項目の追加を望む。

3 懸念事項

本仕様一覧は、分科会に参加している日本国内のメーカーを対象としている。しかし、大判インクジェットプリンターを販売しているメーカーは、海外にも多い。それらのメーカーも含めて、カタログ記載内容の統一が今後の課題となるであろう。

4 今後の活動

今、社会では環境問題が注目されている。大判インクジェットプリンターを使用するお客様は、このプリンターを製造装置として使用して、各種製品を生産することとなる。インクジェットプリンターは、従来の製造装置に比べ、環境に優しい製造装置となることをお客様も理解してもらうことが大事である。そこで、今後は、各プリンターの環境に対する利点を仕様一覧に項目として盛り込む検討を進める。